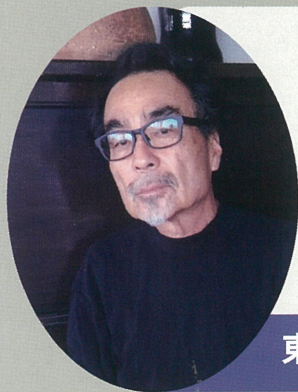


# 「横尾忠則の最近 - 愛猫タマとY字路」

【講演概要】

横尾忠則の最近の創作活動についてお話ししたいと思います。横尾の創作が死（の蔭）を意識したものになっていることは、近年の大きな特徴です。グッチ銀座ギャラリーでの「未完の自画像」展（2025年4月～11月）でも、突き抜ける明るい色彩の裏に死（の蔭）が感じられ、夜のY字路の連作もより直接に終末や死を想起させます。その背後で、横尾の深部の創作そのもののメカニズムに変化があるように思われます。



講師プロフィール

1949年生、京都大学理学部卒、京都大学理学研究科中退、理学博士。京都大学人文科学研究科助手、神戸学院大学教養部助教授を経て東京大学東洋文化研究所教授。2015年定年退職、2022年から金城次郎館（沖縄県南城市）館長。人類学（認識人類学、西南アジア民族誌）を専攻、退職後は美しいものを手がかりに、学術研究が扱わなかった価値や感性について考えている。

東京大学名誉教授・芦屋大学客員教授 松井健



芦屋大学図書館所蔵稀観書展覧会は、学内外の方々、芦屋市民の皆様にご覧いただくために開催いたしました。この機会をいただきましたことを、心より嬉しく思っております。



芦屋大学 学長・芦屋大学図書館 館長 窪田 幸子

参加  
無料

日時：1月16日（金）14：00～15：30  
場所：芦屋市民センター本館401室（先着90名）  
お申し込み不要。直接会場にお越しください。

芦屋大学図書館所属稀観書展覧会第7回展示 **市民センターギャラリー展示場**

「コウベのアーティスト - 小磯良平、菅井汲、横尾忠則 -」

1月16日（金）～1月29日（木） 月～土9:00～21:00 日・祝17:00まで 火Ⓞ

概要

神戸はその文化的なたたずまい、国際的な活気で多くのアーティストをひきつけてきました。今回は、芦屋大学図書館蔵書から豪華画集の小磯良平の『DOUZE DESSINS』、菅井 汲の『嵐』、そして横尾忠則の『現代版画 横尾忠則集』を中心に展示して、芸術の街・神戸の横顔をお楽しみいただきたいと思います。